

[写真展] アレッ、この花 白いヨ !!

花は、植物が子孫を残し増やしていくため、大切な働きをしています。

花の色が、植物の種類によって異なるのは、花を訪れる虫によって、色の好みが変わるためかも知れません。

たとえば、青い花は「青い」ことによって、赤い花は「赤い」ことによって、種類の違う虫を引き寄せ、子孫を増やす手伝いをさせています。

ところが、花にはその植物が本来もっている色ではなく、まれに「白い花」が見つかることがあります。野山でそんな花に出会うと、「アレッ、この花 白いヨ !!」と驚き、「なぜなの？」と不思議に思います。

白くなる原因と理由は、植物の違いによって異なるのですが、そのような珍しい「白い花」のいくつかを、普通の色の花とならべて展示しました。

写真と解説：泉 治夫

期間 令和5年10月1日～12月24日（9:00-16:30）

場所 高岡古城公園自然資料館（休館・月曜日）

(例)



イワギキョウ（ききょう科）

息を切らして 登ってきた山頂
足元にも 青い空と 白い雲

撮 影 2004年8月2日 立山
(普通種 2017年9月25日 立山)

主催 高岡生物研究会